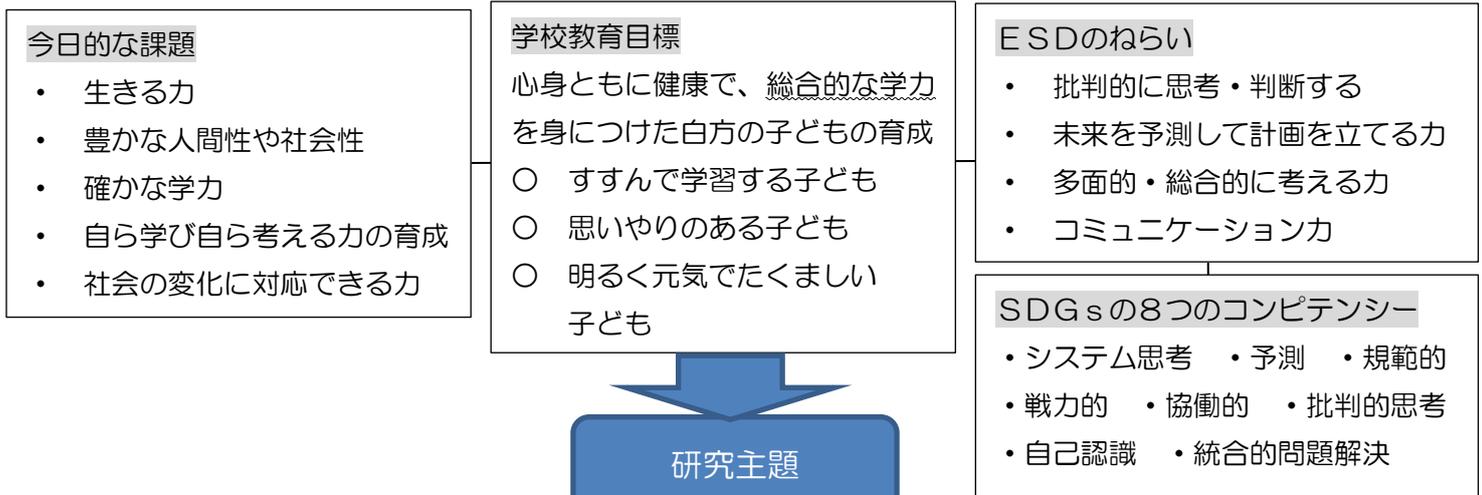


令和2年度 研究の全体構想



地域に根ざし、持続可能な未来を切り拓く児童の育成

～ESD・SDGsを見通した指導～

目指す児童像と能力・態度

- ・ 少し先の未来を思い描きながら、多様な観点から考え、よりよい解決策を見いだすために自主的に活動する児童 (多様な観点)
- ・ 自分の考えや思いを、相手に合わせて表現したり伝えたりして、協力して取り組む児童 (交流と協力)
- ・ お互いを認め尊重し合い、自分と周りの人やものとのつながりを大切にする児童 (つながり)
- ・ よりよい未来のために行動する児童 (主体的・計画的)

研究の見通し1

教育活動全般で、つながりを意識して教育活動を展開していけば、ESD・SDGsの見方・考え方を育てることができるであろう。

研究の見通し2

学習の各段階で、伝え合う活動や話し合い活動を意図的に行えば、表現力が向上し、自ら発信したり、行動したりする力を育てることができるであろう。

手だて1 学びをつなぐ

- ・ 既習事項や学年の系統性を意識して各教科の単元の構想を練る。

→ESDカレンダーの作成と活用

手だて2 対象の物・人・こととつなぐ

- ・ 体験活動を意図的・効果的に組み入れる

→ゲストティーチャーの積極的な活用

→事前活動—体験(活動)—発信—まとめ—ふりかえり

- ・ 表現、発信する場の設定と伝え合い

手だて3 各教科の単元の各段階での対話や
話し合い活動の設定の工夫

- ・課題設定の工夫 ・自己決定の場の設定
- ・意見交流、話し合いの場の意図的な設定
- ・相手を意識した伝え方・発表の仕方の工夫

手だて4 SDGsを使用したゴールの明確化

- ・17の目標からゴールを設定
 - ・発信し、自分が今後何をできるか考える
- 自分事として受け止め、発信する力

<令和2年度の研究について>

1 昨年までの研究の成果（○）と課題（●）

- 教科横断的な学習、既習事項を生かした話し合い活動等ができるように、「ESDカレンダー」を作成し、活用することで、子どもたちの考えの中にも、教科と教科の連続性が生まれてきた。総合的な学習の時間の中で、国語、算数、社会の既習事項を児童が進んで活用する姿が見られた。教科と教科の繋がりを活かして学ぶ姿も見られた。
- 地域に根ざした題材から課題を見付け、調べ、表現する学習を行うことで、児童自身が白方・須賀川地域を見て歩いたり、現地の方にインタビューしたりして、地域に関して多くのことに気付くことができた。また、地域の課題を見つけ、自ら進んで提案し行動できる児童の姿も見られた。そのことから、自分が学習する前後で、地域に対する愛情「やっぱり福島・須賀川・白方はすばらしい所だ。」ということを深めることができた。
- 「発信力」の向上が見られた。10月に行われた白方フェスタや授業内の発表・発信活動では、児童が自分たちの伝えたいことを基に原稿を書いたり、構成を考えたりして発表に臨むことができた。また、各学年の実態、既習事項に合わせて、「ポスターセッション」、「ビデオレター」、「リーフレット」など、相手を意識した伝え方を考えながら作成し、地域に対する一人一人の想いを表現することができた。
- ESD、SDGsという言葉がまだまだ児童に浸透していない。全校集会や掲示物等で言葉の意味や、何で学習しているのかを知らせたい。そして、子どもたちの声から、ESDやSDGsについての声が聞けたらと思う。
⇒今年度は各教科だけでなく、児童会において、委員会活動でSDGsの活動を行うようにする。また、ESD、SDGsの意味合いを込めた、白方の言葉として浸透させるように工夫する。
- 相手意識を持つことや、順序良く相手に伝わるように話すことにまだまだ課題がある。国語科の授業などを活用して、話すこと・表現方法に意識して発信させていきたい。
⇒ESDカレンダーでの成長段階に応じたスキルの習得を意識して、生活科・総合的な学習の時間での活用を行い、指導を行う。

- 多角的・多様的に見る視点に関しては、友だちの意見交流などから気付くことができたが、自分たちで考え計画的に物事を進める点に関しては、教員を仲介して行う姿が多く見られた。今後は、学習を今まで以上に自分事と捉え、進められるようにしていきたい。

⇒ ESD、SDGs の考えを教職員、児童が理解し、何でこのような考えが必要なのかを再確認させたい。また、児童だけでなく、保護者にも学校での取り組みを発信できる場を設定し、児童をサポートできる場を設けたい。

< 今後の課題（今年度中には、解決したい） >

ESD・SDGs の授業研究と全員行う授業研究の方法を同じ方法でできないか考えていきたい。ESD・SDGs でのグループでの学ぶ姿など…
いいアイデアがあれば教えてください。

研究主題

地域に根ざし、持続可能な未来を切り拓く児童の育成

～ ESD・SDGs を見通した指導～

研究の見通し 1

教育活動全般で、つながりを意識して教育活動を展開していけば、ESD・SDGs の見方・考え方を育てることができるであろう。

実現のための手立て

(1) 学びをつなぐ

その学年で目指す児童の姿を明確にし、教科の学習や行事とのつながりや既習事項、学年間の系統性を明確にし、指導の構想を練る。

- ① ESD カレンダーの作成を 5 月までに行い、各教科の単元構想を練る。(1 年間の軸を作る)
- ② 各学年の学びをつなぐため、その学年で行った学習や活動の記録を累積できるようにする。

(児童一人一人の変化に気付く)

(2) 対象の物・人・こと とつなぐ

体験活動を効果的・計画的に組み入れ、目的意識を持たせて体験活動に主体的に関わらせたり、事後のふりかえりをしっかりさせたりする。

- ① 「事前活動—体験（活動）—まとめ—発信—ふりかえり」を計画的に行い、他の行事や体験とつないだり見通しをもたせたりして、目的意識（何のために、何を、どうやって）と達成感をもたせる。また、発信した物を自分に返すことで、今後自分がどのような事ができるか考えさせる。
- ② 自分の考えを表現する場や相手を様々に設定し、日常的に伝え合い活動を行う。

研究の見通し 2

学習の各段階で、伝え合う活動や話し合い活動を意図的に行えば、表現力が向上し、自ら発信したり、行動したりする力を育てることができるであろう。

実現のための手立て

- (3) 各教科の単元の各段階での対話や話し合い活動の設定の工夫

各教科の単元の各段階で対話を重視し、「考えながら表現し、表現しながら考える」活動を行っていく。

- ① 課題設定や自己決定の場の設定を工夫することにより、対話を促し、意見交流や話し合い活動を各段階で行えるようにする。
 - ② 相手や場面を意識した伝え方や発表の仕方を考えさせ、工夫させる。
- (4) SDGsを使用したゴールの明確化
- ① 17の目標からゴールを設定、169のターゲットを意識し、グローバルな視点で考えさせる。
 - ② 発信し、自分が今後何をできるか考える
- 各教科・児童会活動・学校生活で自分事として受け止め、発信・行動する力

各委員会でSDGsに関わることを1つ以上行う！

3 ESDカレンダーと単元構想計画の作成について

各学年で、各教科や行事とのつながりを考え、ESDカレンダーを作成する。

第5学年 ESDカレンダー										須賀川市立白方小学校		
教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	俳句教室 春の空	新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けよう		夏の夜		考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう (Ⅱ V)		秋の空			冬の朝	
算数		直方体と立方体の体積							百分率とグラフ			
社会	わたしたちの国土 (Ⅰ)			わたしたちの生活と食料生産 (Ⅰ Ⅱ V)					情報化した社会と私たちの生活 (Ⅰ Ⅱ Ⅲ V VI)		私たちの生活と環境 (Ⅰ Ⅱ Ⅲ V VI)	
理科			植物の発芽・成長・結実 (Ⅰ Ⅱ)					流れる水のはたらき (Ⅰ Ⅱ)				
総合	白方から発信～白方の環境～ (Ⅰ Ⅱ Ⅲ V VI)											
外国語	HELLO!	What do you like?				What would you like?			She can run fast. He can jump high.			
特活	放射線の利用と私たちの生活 (Ⅰ Ⅲ V VI)	放射線の利用と私たちの生活 (Ⅰ Ⅱ IV VI)		学校をきれいになろう (V VI)					放射線を下げる取り組み (Ⅰ Ⅱ V VI)			
道徳		自然愛護 一ふみ十年 (Ⅲ V VI(2)(5)(7))			国際理解、国際親善 「折り紙大使」 (Ⅰ)		個性の伸長 ぐずれ落ちたたんぽぽ箱 (Ⅲ V)		国際理解、国際親善 同じ空の下で (Ⅰ)		自然愛護 イルカの海を守る (Ⅲ V VI)	
音楽	鼓笛 (V VI)					日本の音楽・世界の音楽 (Ⅰ)		伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 正月料理親から子へ、そして孫へ (Ⅰ Ⅱ)		鼓笛 (V VI)		
図工												
家庭	わが家にズームイン! (Ⅰ Ⅱ V)				食べて元気! ごはんとみそ汁 (V VI)							
体育	白方っ子タイム											
行事	運動会 (V VI)	おやつ作り (V VI)	愛校作業 (V VI)		愛校作業 (V VI)		白方フェスタ (V VI)					
	スキル: 体と命(食育・体育) 自然・社会との関わり(環境) 人との関わり(国際理解・協力)											
	()・・・「持続可能な社会づくり」の構成概念Ⅰ～Ⅵ Ⅰ多様性 Ⅱ相互性 Ⅲ有限性 Ⅳ公平性 Ⅴ連携性 Ⅵ責任性											

※ ESDカレンダーは、適宜修正を行いながら活用する。

4 授業後の評価について

児童にどのような力がついてきているのか評価するため、単元後に学習指導案の「4 指導計画と評価規準」に応じた児童向けのアンケートを作成する。児童が自己評価を行い、担任が考察を行い記録しておく。

※段階ごとにポートフォリオ評価を使い、記入させ、児童の変化をみれるようにする。

(例) 5学年「総合的な学習の時間」

指導計画と評価規準

段階	主な学習活動 (時数)	多様な観点と見通し	交流と協力	つながり	主体的・計画的

課題の設定	<p><稲作とネパールについて> (6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「田植え」体験をする。 ・田植え体験から分かったこと、疑問点を発表し合う。 ・ネパールのイメージをウェビングマップに書く。 ・ビデオレターで伝えたい内容を話し合い、グループ分けを行う。 	<p>田植えの経験から米ができるまでの中で調べたいことを洗い出し、たくさん視点から今回の学習について関心を抱くことができる。</p>	<p>自分と友達の考えを比較することで、新たな気付きについて発見することができる。</p>	<p>外国とのつながりを大切にすることで、外国の文化や環境について理解することができる。</p>	<p>自分がどのようなビデオレターを作り、どのようなメッセージを送りたいかイメージを持って取り組むことができる。</p>
情報の収集	<p><伝える内容を決め、調べよう> (13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの地域から、題材になるもの考える。 ・ネパールのビデオレターを見て、他者意識をもつ。 ・ポスターを作成し、まとめる。 ・伝えたい内容を基に、絵コンテを作成し、計画を立てる。 ・絵コンテの発表会を行う。 	<p>ビデオレターを見て、分析的にメッセージを読み解くことができる。相手意識を持った絵コンテを作成している。</p>	<p>これまでの生活、体験を基に、ビデオレターで伝えたいことを話し合うことができる。また、ビデオレターに活かそうとすることができる。</p>	<p>ネパールとのつながりを大切にしながらビデオレターの内容を決めることができる。自分たちの生活の中にも外国とのつながりに気付くことができる。</p>	<p>絵コンテ作成や撮影の順序を考えて計画をたてることができる。各班で作成した絵コンテを基に一つのストーリーとして作成することができる。</p>
整理・分析	<p><自分たちの想いを形にする> (15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネパールからのビデオレターを見て、他者意識を確認する (本時) ・絵コンテをもとにビデオレターの撮影・編集を行う。 ・中間発表を行い、アドバイスをもらう。 	<p>どのように撮影すれば相手に分かりやすく伝わるのか工夫しながら行うことができる。</p>	<p>友達と協力しながらビデオレターの撮影・編集を行うことができる。</p>	<p>環境が違っていてもつながりがあることを意識して、ビデオレターを作成することができる。</p>	<p>グループでの役割分担を行い、一時間一時間の見通しを持って撮影・編集をすることができる。</p>
まとめ・表現	<p><今までの活動を振り返ろう> (6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオレター発表会を行う。 ・ネパールのビデオレターを見る。 ・今までの活動を振り返り、学習の前後での自分の変化について知る。 	<p>今回の経験から今後に活かせるようなことを話し合い、考えをまとめることができる。</p>	<p>外国との交流で自分の視野を広げることができる。</p>	<p>ビデオレター交流から、外国と協力したり、助け合うことの大切さを理解することができる。</p>	<p>ビデオレターを見て、今後の生活に活かせるような点について自分の考えを持つことができる。</p>

白方から発信！～白方の環境～ アンケート

児童が自己評価を行った後、担任の評価と比較し、児童の変容を考察する。

これらの評価基準をもとに次のような児童向けのアンケートを作成する。

5 育てたいスキル

各学年に応じた「育てたいスキル」の一覧表を作成し、その学年の子どもたちにどんなスキルを体験させたのか、どの程度身についたかを把握できるようにする。(下記 高学年の例)

<育てたいスキル> 高学年 <input checked="" type="radio"/> 身に付けさせたいもの <input type="radio"/> 体験させたいもの ※体験したものをマーカーでチェック ピンク・・・ほぼ身についた 黄色・・・体験させた ★表にないスキル(追加)・・・赤で記入					
課題設定	<input type="radio"/> 自分の興味・関心や体験したり調べたりして考えたことをもとに、課題を設定し、見直しをもって学習の計画を立てる。 <input type="radio"/> 複数のものを比較する。(体験、資料) <input type="radio"/> KJ法的な手法を用いて、気づきや疑問点を類型化し、課題を見い出す。 <input type="radio"/> グループ毎にワークショップや編集会議を行い、課題解決に向けた見直しをもつ。				
情報の収集 <取材・調査の方法>	<input checked="" type="radio"/> 図書室・図書館の活用 <input checked="" type="radio"/> インターネット <input checked="" type="radio"/> 資料・統計の活用 <input type="radio"/> 見学 <input type="radio"/> 目的に応じたインタビュー <input type="radio"/> 電子メール <input type="radio"/> 算数の体積・容積 <input type="radio"/> 1あたりの単位量 <input type="radio"/> アポイントメント <input type="radio"/> ファイル、PCフォルダに情報を集積・整理する。 <input type="radio"/> アンケート <input type="radio"/> チラシ・おたより作成・配付 <input type="radio"/> フリップボードを提示してのインタビュー				
整理・分析 <方法・視点>	<方法> <input checked="" type="radio"/> 集めた情報をカードに書き出して整理・分類する。 <input checked="" type="radio"/> グラフで整理・分析する。 <input type="radio"/> 地図に整理し、他の情報と関連づけて考える。 <input type="radio"/> 集めた情報をランキングして整理する。 <視点> <input checked="" type="radio"/> グラフや表にし、事象の特徴を客観的に捉え、考えの根拠とする。 <input type="radio"/> メリット・デメリットの視点で吟味する。				
まとめ・表現 <相手・方法>	<相手> <input type="radio"/> 家族 <input type="radio"/> 友達 <input type="radio"/> 異学年 <input type="radio"/> 全校生 <input type="radio"/> 地域の人 <input type="radio"/> 外国人 <方法> <input checked="" type="radio"/> レポート <input checked="" type="radio"/> ポスター <input checked="" type="radio"/> プレゼンテーション <input checked="" type="radio"/> ビデオレター <input type="radio"/> パンフレット <input type="radio"/> プレゼンテーション <input type="radio"/> 自分史 <input type="radio"/> 提案書 <形態> <input type="radio"/> ポスターセッション <input checked="" type="radio"/> 討論会 <input type="radio"/> ワークショップ				
		よくできた	できた	あまり できなかった	できなかった
①田植え学習を経験する。		1 5	3		
②田植え体験から、分かったことと調べたいことを付箋に書き、KJ法でまとめる。		1 4	4		
③ビデオレターで伝えたい内容を話し合い、グループ分けを行う。		1 6	2		
④私たちの生活、地域から、題材になるものを考える。		1 3	5		
⑤伝えたい内容を基に、絵コンテを作成し、計画を立てる。		1 1	5	2	
⑥ネパールのビデオレターから伝えたいメッセージを読み取る。		1 3	5		
⑦発表会で受けたコメントを基にビデオレターの一貫性があるように修正を行う。		1 5	3		
⑧絵コンテをもとにビデオレターの撮影・編集を行う。		1 3	5		
⑨中間発表を行い、アドバイスもらう。		1 7	1		
⑩反省を受けて、ビデオレターの修正をする。		1 5	3		

6 ESDを通じた指導（下記資料を参照）※昨年度から始まったので、年度ごとに訂正する
SDGs に関係している教科に関しては、単元を組む中に工夫して組み込んでも可能である。

e x)「社会科のゴミの学習」⇒「自分にできること・呼びかけていくことで世界がどのように変容するか？」



SDGs 実践計画表

須賀川市立白方小学校

世界を変えるための17の目標

目標4 質の高い教育を 全ての人に		4 質の高い教育を みんなに		E S D		主体的・問題解決的な学び（体験学習） 教科横断的・統合的な学び（ESD カレンダーの活用） 対話的・協働的な学び（発信の場の設定）	
環 境		人 権		多文化理解（国際理解）			
2 飢餓を ゼロに 	目標 2 飢餓をゼロ にする 2年 バランスのとれた食生活（学） 3年 農家の仕事（社） 5年 これからの食料生産と わたしたち（社）	6 安全な水とトイレ を世界中に 	目標 6 安全な上下水 の保障 4年 水はどこから（社）	1 貧困を なくそう 	目標 1 貧困をなくす 5年 これからの食料生産と わたしたち（社）	10 人や国の不平等 をなくそう 	目標 10 人や国家間の 平等 2年 ときどきわくわく まちたんけん（生） もっとなかよし まちたんけん（生） みんなであつかう まちなしせつ（生） つたわる広がる わたしの生活（生） 3年 わたしのまち みんなのまち（社） 市のうつりかわり（社） ふるさといいとこさがし（道） ほくのおべんとう（道） 低学年 外国の人と交流しよう（生）
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	目標 7 エネルギーをみんな なクリーンに 2年 うごくうごく わたしのおもちや（生） 3年 つくってあそぼう（理） 全学年 学校をきれいにしよう（学）	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 	目標 9 産業と技術革新 の基盤づくり 5年 わたしたちの生活と 工業生産（社） 情報化した社会と わたしたちの生活（社） 3～6年プログラミング学習（総）	3 すべての人に 健康と福祉を 	目標 3 健康と福祉 2年 ぼく・たんじょう日（道） おへそのみみつ（学） 3年 いただいたいのち（道） 4年 なにかお手伝いできることは ありますか（道） 点字メニューにちようせん（道） 6年 朝食から健康な 1日の生活を（家） まかせてね今日の食事（家） 3～6年 保健の学習（保） 全学年 白方フェスタ（行）		
11 住み続けられる まちづくりを 	目標 11 安全で 災害に強い まちづくり 3年 暮らしをまもる（社） 4年 地震からくらしを守る（社） 5年 自然災害を防ぐ（社） 流れる水のはたらき（理） 6年 これからの福島を	12 つくる責任 つかう責任 	目標 12 持続可能な 生産と消費 4年 ごみのしよりと利用（社） 5年 これからの食料生産と わたしたち（社）	5 ジェンダー平等を 実現しよう 	目標 5 ジェンダー 平等の実現 2年 あしたへジャンプ（生）	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	目標 17 世界の協力とパ ートナーシップ 2年 ひろいせかいのたくさんの人 たちと（道） 4年 世界の小学生（道） 5年 白方から発信 ～白方の環境～（総） 6年 世界へ発信！

<p>考えよう（学）</p> <p>全学年 放射線の学習（学）</p>			<p>つながる白方（総）</p> <p>全校体制で取り組む、国内外への発信や交流</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>目標 13 気候変動対策</p> <p>5年 台風と天気の変化（理）</p> <p>流れる水のはたらき（理）</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>  <p>目標 15 陸の豊かさ</p> <p>1年 生きものとなかよし（生）</p> <p>きれいにさいてね（生）</p> <p>なつがやってきた（生）</p> <p>たのしいあきいっぱい（生）</p> <p>ふゆをたのしもう（生）</p> <p>2年 大きくなあれ</p> <p>わたしの野さい（生）</p> <p>うごくうごく</p> <p>わたしのおもちゃ（生）</p> <p>生きものなかよし大作せん（生）</p> <p>3年 農家の仕事（社）</p> <p>5年 わたしたちと生活と環境（社）</p> <p>米づくりのさかんな地域（社）</p> <p>全学年 俳句づくり（国）</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>  <p>目標 8 経済成長と 人間らしい仕事</p> <p>3～6年 先輩の話を聞こう（学）</p>	
<p>14 海の豊かさを守ろう</p>  <p>目標 14 海の豊かさ</p> <p>5年 水産業のさかんな地域（社）</p>		<p>16 平和と公正をすべての人に</p>  <p>目標 16 平和で公正な 社会と行政</p> <p>3年 みさきさんのえがお（道）</p> <p>6年 世界の中の日本（社）</p> <p>新しい日本、平和な日本へ（社）</p>	

活動内容

月	日	曜日	活動予定
4	2	木	令和2年度現職教育の方向性について 授業研究・ESDカレンダー・授業案の形式等について
4	10	金	（校長）（6）学年授業研究①
5	1	金	（2）学年授業研究②
5	28	木	（4）学年授業研究③【永島先生来校】
6	5	金	（ ）学年ESD授業研究事前検討会①
6	19	金	（ ）学年ESD授業研究事後検討会①
6	26	金	（6）学年授業研究④
7	17	金	（1）学年授業研究⑤
8	28	金	（ ）学年ESD授業研究事前検討会②
9	4	金	（ ）学年ESD授業研究事後検討会②
9	11	金	（ ）学年ESD授業研究事前検討会③
10	2	金	令和2年度第6回「ESD研究発表会」（1回目） （ ）学年授業研究事前検討会④ （ ）学年授業研究事前検討会⑤ （ ）学年授業研究事前検討会⑥
10	8	木	（ ）学年ESD授業研究事後検討会③【村瀬先生来校】

10	23	金	令和2年度第6回「ESD研究発表会」(2回目) () 学年授業研究事前検討会④ () 学年授業研究事前検討会⑤ () 学年授業研究事前検討会⑥
10	30	金	令和2年度第6回「ESD研究発表会」 () 学年授業研究事前検討会④ () 学年授業研究事前検討会⑤ () 学年授業研究事前検討会⑥
11	6	金	(3) 学年授業研究⑥
11	13	金	宿泊学習5・6年
12	11	金	(なかよし) () 学年授業研究⑦、研究のまとめ方について
1	22	金	研究物の閲覧
2	5	金	令和3年度の研究の方向性について
2	12	金	(5) 学年授業研究⑧
2	26	金	(教務) () 学年授業研究⑨【永島先生来校】
3	12	金	(教頭) () 学年授業研究⑩

※ESD授業研究に関しては、指導案を作成する。

全体の流れ・SDGsがつながる矛先・教科横断的なつながりを分かるように明記する。

※ESD・SDGsの事前研に関しては、授業者によって実施を決める。